



学校だより

令和 2年 3月 2日
No. 12 3月号
横浜市立瀬谷第二小学校
校長 泉 太郎

～新型コロナウイルス感染症への対応～

校長 泉 太郎

2月26日(水)、私の携帯にメールが入りました。「3月2日(月)の卒業式は卒業生と職員のみで行います。内容を縮小し短時間で行います。(中略)尚、保護者の皆様の参加はご遠慮願います。」子どもの通う高校からでした。卒業式に出ることを楽しみにしていたのですが、校長としての立場、そして、親としての立場から複雑な気持ちで受け止めたメールでした。

本来であれば、卒業する6年生のことや、この一年の子どもたちの成長の様子をお伝えし、保護者の皆様、地域の皆様に、学校の教育活動に対するご支援・ご協力に感謝の気持ちをお伝えする学校だより3月号ですが、今年は例年とは違う学校だよりとなります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、全国の小・中学校、高等学校、特別支援学校が一斉に臨時休校となります。自治体ごとに期間やその間の対応に違いはありますが、横浜市立学校では、3月3日(火)から3月13日(金)まで臨時休校となります。保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、児童の健康・安全を考えた臨時休業とご理解いただき、ご対応をお願いします。今後の学校生活のこと、学習のことなど不安なお気持ちは強いと思います。また、今後も状況が刻々と変化することが予想されます。学校は文部科学省、横浜市教育委員会からの情報をもとに、可能な限り迅速に保護者の皆様に状況をお知らせしたいと考えています。休業期間中は特にメール配信にご注意ください。そして、何よりも、子どもたち、ご家族の皆様が健康にこの期間を過ごされることを教職員一同願っています。

☆一斉臨時休校について

- 期間：令和2年3月3日(火)～3月13日(金)
- 14日・15日が土日のため、登校は16日(月)からとなります。



☆卒業証書授与式について(詳しくはお知らせをご覧ください)

横浜市教育委員会の通知に基づき次の様に実施します。6年生に残された日は、学校再開後4日間ですが、卒業証書をしっかりと受け取り、新たな世界へ羽ばたけるよう支援していきます。

- 日時：令和2年3月19日(木) 10時～ 体育館にて短縮して実施
- 参加者：卒業生(6年生)児童と教職員

卒業生保護者、在校生(5年生)、来賓は式への参加はできません。

☆一斉臨時休校中の児童の受け入れについて(詳しくはお知らせをご覧ください)

※感染拡大予防のための休業であることを踏まえ、1年生・2年生・3年生及び個別支援学級の児童で、保護者の就業の関係で家庭、学童保育所等での対応が極めて困難な場合のみ受け入れます。

- 初回参加時に忘れずに「緊急受け入れカード」を持たせてください。
- 図書室で個々に過ごすこととなります。学習用具・本(図書室の本も可)・折り紙や自由帳などを用意してください。ゲーム機は不可です。
- マスクを必ず着用してください。また、別途配布しました健康観察表を記入し持たせてください。
- 受け入れ時間を守り、遅刻・早退は必ず保護者が付き添いをお願いします。
- 昼食は各自お弁当を準備してください。

※教職員は交代で見守りをしますが、学習の指導等はしません。



1月・2月の行事・学習より



1月～2月 1年 幼稚園・保育園交流会

近隣の幼稚園・保育園と交流を行いました。入学前の不安をやわらげるために、年長さんに『学校クイズ』『学校体験（白衣を着る・ランドセルを背負う・お道具箱を見せる）』『学校探検』などを体験してもらいました。「白衣をちゃんと着ることができたね。」「学校は楽しいところだよ。」などと、優しい言葉を掛けながら、接することができました。かわりを通して、自分たちの成長に気付いたり、2年生になるという気持ちを高めたりすることができました。



2/5(水) 4年 はばたき会（10才を祝う会）

～仲間と協力し合い、成長したすがたを見せよう～

自分たちがこれまで成長した姿を見せたいという思いを胸に、準備を進めました。愛川でも踊った「パプリカ」のダンスや、国語で学習した「ごんぎつね」をもとにした音楽劇、家の人に向けた呼びかけなど、協力して練習を重ねました。当日の会場には、総合で作成した草木染めのバンダナや、図工で作ったランプを展示し、これまでの学習の成果が伝わるようにしました。また、自分が成長したことや将来の夢なども掲示しました。本番は、練習の成果を発揮し、今までで一番よい発表ができました。全員で気持ちを込めて「変わらないもの」を歌いました。ピアノ伴奏から指揮まで自分たちで行い、一人ひとりの成長の姿がわかる発表でした。最後は、ハッピーカードを家の人に渡して感謝の思いを伝えました。学年の仲間と協力して作り上げた素敵な会になりました。



10歳を祝う会としてやったはばたき会は、最高のものになりました。自分が見どころだと思う「ごんぎつねのオペレッタ」と「変わらないもの」では、気持ちを込めて大きな声で歌えました。ハッピーカードは自分の気持ちや思いがよく伝わるように渡しました。家の人喜んでくれると嬉しいです。

「ごんぎつね」は、最初あまり歌詞を覚えてなくて、声も小さく自身がなかったけれど、それでもみんなが「成長した姿を伝えたい」という気持ちが一つになって、練習しているうちに、少しずつ上手になっていき、本番では、とっても上手に歌えました。みんなが一つになって歌う姿を家の人に見せることができよかったです。

私は、始めの言葉を担当しました。当日緊張したけど練習を重ねてしっかりと言うことができました。この十年間でふだんの生活のちょっとしたことでも「ありがとう」がいえるようになりました。これからも成長できるようにがんばっていきたいです。

2/21(金) 6年 感謝にTry! 会(巣立ちの会)

自分たちの感謝の気持ちを表す場として、手作りの会を準備してきました。実行委員を中心に、学年や学級で話し合い、「WNS～感謝の気持ちを伝えよう～」というテーマのもと、準備を進めてきました。当日の会場には、好きな言葉を綴った色紙、図工で制作した写真立てを展示し、掲示物に自分らしさや成長を表現しました。クラス発表では、6年間の自分たちの成長の軌跡を笑いも交えて、紹介しました。スピーチでは、これまでの感謝の気持ちやこれからへの決意を一人ひとりが堂々話すことができました。「生きる」の群読には、今生きていることの素晴らしさを言葉に込め、「いのちのうた」の合唱では、家族へのメッセージを歌声にのせました。子どもたちが胸に秘めたたくさんの感謝の気持ちを素直に伝えられた素晴らしい会になりました。



完璧に歌える自信がなくてもよいから、おもいきり気持ちをこめて歌おうと思いながら歌った。曲が終わりひな壇から下りたとき自分が思っていたよりも楽しく、間違えずに歌えたなと感じた。

本番はいつもよりはっきりとスピーチをすることができた。来てくれた人たち全員を喜ばせたいという気持ちになっていた。家に帰ったら、母がすごく良い会だったと喜んでいて、練習してきてよかったと思っ

生きるという群読では、当たり前のように生きているけれど、群読で生きることの大切さを感じることができた。命のうたでは「うるっ」とくる歌でまるで命のメロディーを奏でていると感じた。

みんなが楽しそうにしていたので、私も楽しくできた。そして、クラス発表が終わった。練習の成果が全て出た気がする。最初はこんなに楽しいものだと思わなかったから、終わってしまうのがさびしかった。

2/13(木) 個別支援学級合同学習発表会

今年度も瀬谷公会堂で行われた合同学習発表会。4番目の発表となった瀬谷第二小は、今回、劇にも挑戦しました。今年のクラス目標でもある「協力」「友情」「挑戦」の三つの「かけら」を手に入れるために、グループに分かれてフラフープやマット運動に挑戦しました。

寒い中、この日まで何度も動きの確認をしたり、マットやフラフープの練習をしたりしてきた成果を見事に発揮することができました。

